

新学期に向けて 春休みにぜひ1冊！

3月11日(金)より、春休みの特別貸出を行います。昼休みや放課後に図書館を利用する生徒がとても少ない現状です。学年末テストも終わり、新たな年度に向けて心機一転、新しいジャンルの本を読んでみるのはいかがでしょうか。行事の関係で期間中、下記の日には図書館閉館となります。また春休み中は図書館が閉館なので早めに借りておきましょう。

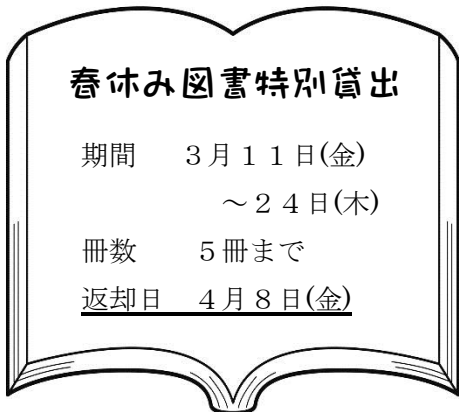
3/16(水)	職員会議のため放課後閉館
3/17(木)	2次入試のため閉館

美山高校で人気の本ランキング

美山高校図書館で貸し出された回数の多い本のランキングです。受賞作や映像化など、メディアで話題になった作品が多く見られました。

- ① 12回 『火花』又吉直樹著(文藝春秋)
- ② 11回 『掟上今日子の備忘録』(講談社)
- ③ 8回 『学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話』坪田信貴著(KADOKAWA)
- ④ 7回 『鹿の王 上巻』上橋菜穂子著(KADOKAWA)
7回 『レインツリーの国』有川浩著(新潮社)

県の図書館報コンクールにて、優良賞を受賞しました。
1年間読んで下さりありがとうございました！！



春休み図書特別貸出

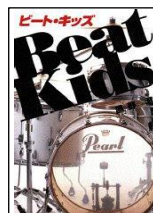
期間 3月11日(金)
～24日(木)
冊数 5冊まで
返却日 4月8日(金)

※現在貸出中の本がある人は貸出できません。返却期限を過ぎた本は大至急返却して下さい。

図書委員おすすめ本



『Beat Kids』風野潮著



(講談社)

この本は、ドラムをたたいたこともないような少年が、ドラムのおもしろさを知り、仲間とぶつかり合いながらも、今より上を目指して努力し、最後は顧問の力を借りず、自分の仲間たちだけで、最高の演奏を作り上げるとい話です。おもしろいし、最後はとても感動的でオススメです。ぜひ一度読んでみて下さい。(1-4 桜木)

『親指さがし』山田悠介著

「親指さがして知ってる？」由美が聞きつけてきた噂話をもとに、武たち5人の小学生が遊び半分で始めた、死のゲーム。しかしそこに由美の姿はなかった。女性バラバラ殺人事件に端を発した、呪いと恐怖のノンストップ・ホラーです。ぜひ読んでみてください。(2-3 高木)



(幻冬舎)

『氷菓』米澤穂信著



(角川書店)

この本は高校を舞台にしています。何事にも積極的には関わろうとしない主人公が、古典部の仲間と日常の中にある謎を解き明かしていく姿はとても痛快です。ページ数も少なく、本を読み慣れていない人でも簡単に読めると思うので、一度試しに借りて読んでみて下さい。(1-1 後藤)

『夢をかなえるゾウ』水野敬也著

主人公はどこにでもいるサラリーマン。彼は自分を何度も変えようとしていたが、三日坊主で失敗し続けていた。ある日泥酔したままインドで買った置物に「自分を変えたい」と泣き叫ぶと、翌朝、関西弁を話す謎の生物が。それは置物から化けてでてきた神様、ガネーシャだった。主人公は夢をかなえるためにガネーシャの課題をのりこえていく。(2-3 三木)



(飛鳥新社)

Teacher Recommend
Books

先生方のおすすめの本を
紹介していただくコーナーです。

第6回目は、英語担当の **山野寿美先生** です。

おすすめの本は 『**怪談**』 **小泉八雲** 著



ある女が男と恋に落ち、幸せに暮らす。突然、女は着物と簪だけを残して消えてしまう。実は、女は柳の化身で、柳が切り倒されたため、消えてしまった。という『青柳の話』が収録されている。『怪談』というくらいだから、柳の精霊が、未代まで人間をたたり倒すという恐ろしい展開もあるはずだが、そうはならない。『怪談』は外国人である小泉八雲が、西欧化が進む明治時代の日本人から聴き取った物語をまとめたものだ。彼の目には『復讐や恨みなどに囚われず、淡々と日々を受け入れる日本人』の存在は驚異だったのだろう。彼は『日本の面影』の中で、『自分とは異なる他者や異邦人をやわらかく受け入れる明治の日本人』を礼賛している。国際社会を生きる現代の私たちが、この本から学べることがまだまだある。

山野先生、お忙しい中ご協力ありがとうございました！

映画を読み、図書館へ

『**残穢**』 **小野不由美** 著 (新潮社)

映画化！ 1 / 30 (土) 公開

この家は、どこか可怪しい。転居したばかりの部屋で、何かが畳を擦る音が聞こえ、背後には気配が…。だから、人が居着かないのか。何の変哲もないマンションで起きる怪異現象を調べるうち、ある因縁が浮かび上がる。かつて、ここでむかえた最期とは。怨みを伴う死は「穢れ」となり、感染は拡大するというのだが—



新着図書紹介(3月)

『**江ノ島西浦写真館**』 **三上延** 著



(光文社)

江ノ島の路地の奥、ひっそりとした入り江に佇む「江ノ島西浦写真館」。百年間営業を続けたその写真館は、館主の死により幕を閉じた。過去のある出来事から写真家の夢を諦めていた孫の桂木繭は、祖母の遺品整理のため写真館を訪れる。そこには注文したまま誰も受け取りに来ない、とごか歪な「未渡し写真」の詰まった缶があった。繭は写真を受け取りに来た青年・真鳥と共に、写真の謎を解き、注文主に返していくが一。

『**おとめの流儀**』 **小嶋陽太郎** 著



(ポプラ社)

中学生になったばかりのさと子が入部したのは、全国でもめずらしい「なぎなた部」。凛々しい美人だけどころかなり変わり者の2年生・朝子さんしか部員はおらず、さと子は部員集めに奔走する。なんとか急造したへっぽこなぎなた部は朝子さんの独断で、思わぬ相手と闘うことに一。「なぎなた部」を舞台にした青春小説。

- 031 『現代用語の基礎知識 2016』(自由国民社)
- 040 『文藝春秋オピニオン 2016 年の論点』(文藝春秋)
- 366.29 『中学生・高校生の仕事ガイド 2016-2017 年版』(桐書房)
- 366.29 『資格取り方選び方全ガイド 2017』(高橋書店)
- 375.25 『図解でわかる時事重要テーマ 100 2017 年度版』(日経 HR)
- 721.5 『もっと知りたい伊藤若冲 生涯と作品』佐藤康宏著 (東京美術)
- 721.5 『もっと知りたい酒井抱一 生涯と作品』玉虫敏子著 (東京美術)
- 721.5 『もっと知りたい俵屋宗達 生涯と作品』村重寧著 (東京美術)
- 913.6 『世にも奇妙な君物語』朝井リョウ著 (講談社)
- 913.6 『掟上今日子の退職願』西尾維新著 (講談社)
- 913.6 『透き通った風が吹いて』あさのあつこ著 (祥伝社)
- 914.6 『図書室で暮らしたい』辻村深月著 (講談社)
- 914.6 『まにまに』西加奈子著 (KADOKAWA)

